

# 国土総合開発事業調整費調査 陸奥湾海域開発調査

## (要約)

直江 春三・早川 豊・小倉大二郎・三津谷 正  
仲村 俊毅・尾坂 康

陸奥湾は、水産増養殖の展開を図る場として極めて重要な海域であり、現在ホタテガイを中心とした沿岸漁業の振興を図っているが、一方魚類等を柱とした沿岸漁場整備開発事業を積極的に進め、陸奥湾を効率的に利用していく必要がある。また、国においては国土の海岸保全等を目的とした海岸等の整備事業も実施されている。

このため、全国の中でも、その広さ、海の生産力、魚種の豊富さ等のうえで、代表的な陸奥湾をモデル海域として、この海域で沿岸漁場整備開発事業を他の公共事業との調整を図りつつより有効に、より合理的に展開するための基礎資料を得ることを目的として、国の委託を受けて次により調査を実施した。

1. 調査期間 昭和51年10月～昭和52年3月
2. 調査内容および実施機関

調査項目		調査内容	担当機関および担当者
海域実態調査	海況自動観測	水温、塩分、流向、流速、溶存酸素について、ブイロボット5基により調査 水温観測値の統計処理	水産増殖センター 三津谷 正 仲村 俊毅
	水質・底質調査	陸奥湾内の特定海域について、海況を明らかにするため、水質については透明度、水温、塩分、溶存酸素、COD、SS、Total-P、PO <sub>4</sub> -P、底質については粒度組成、強熱減量、COD、全硫化物、の調査	水産試験場 長峰 良典 原口 健二 山口 伸治
	漂砂調査	水深5m～15m間の海底に設置した試験施設による漂砂及び埋没状況等の調査	水産増殖センター 仲村 俊毅 尾坂 康
沿岸漁場整備適地調査	漁場整備適地調査	海域の利用実態等について聞き取り等による調査	漁政課 石岡 春高 熊谷 登
沿岸漁場整備計画の策定調査	整備工法の検討	陸奥湾沿岸における既存の離岸堤等海中施設等について、幼稚魚の分布・生態及び既設魚礁等の調査	水産増殖センター 早川 豊 小倉 大二郎
	整備計画の検討	本調査及び既存調査の資料に基づき、総合的に整理解析（陸奥湾海域開発調査検討会）	漁政課

詳細は「昭和51年度国土総合開発事業調整費 陸奥湾海域開発調査報告書 昭和52年3月 水産庁」を参照されたい。